

Webキュレーションシステムの開発

- 表紙が彩る新しい情報空間 -

1. 背景

現在、Web上の情報を対象としたキュレーションが注目されている。キュレーションとは、無数の情報の中から、あるテーマに沿った情報を人間の視点で取捨選択し、つなぎあわせることである。Web上の情報をキュレーションすることで、それを見た人は少ない労力で価値ある情報を多数入手できる。また、意外な情報と出会いやすくなる。

2. 目的

Webページに表紙をつけ、表紙を使ったキュレーションシステムの開発を目的とする。Webページの表紙とは、図1に示すようなもので、ページ内のテキストや画像を組み合わせて生成する。



図1 Webページの表紙

3. 開発の内容

表紙生成エンジンとWebキュレーションシステムの2つを開発した。

・表紙生成エンジン

表紙はWebページのタイトルやサイト名、キーイメージ（ページ内の代表的な画像）、ロゴ（サイト名を示す画像）、プロフィールアイコン（ページの作者を示すアイコン）、キーセンテンス（ページ内の代表的な文）、色など様々な要素を組み合わせて生成する。

表紙生成エンジンの構成を図2に示す。表紙生成エンジンは各要素を抽出するモジュールと、抽出できた要素を合成するモジュールの2つに分かれている。抽出、合成共にプログラムが自動で行うアプローチと、人の手を借りた半手動のアプローチの2つを組み合わせている。

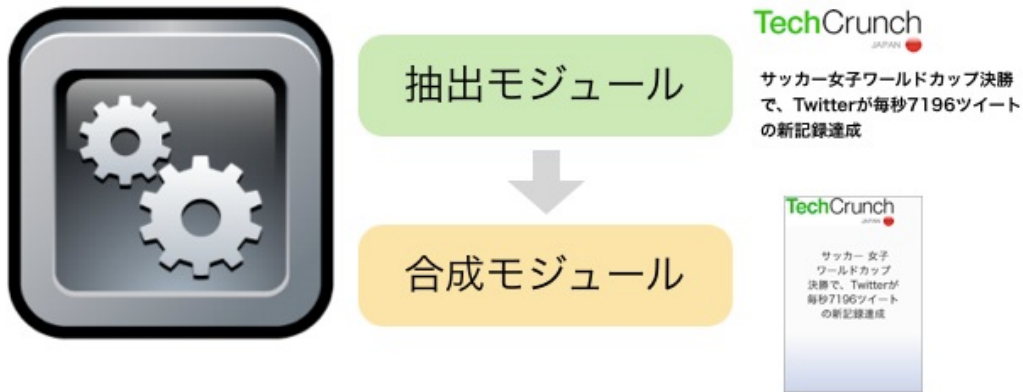


図2 表紙生成エンジンの構成

・Webキュレーションシステム

Webキュレーションシステムは、表紙化したWebページや画像、見出し、コメントを二次元空間に自由にレイアウトし、それを保存・公開することができる。加えて、キュレーションシステム上で、ユーザが表紙のデザインや内容をカスタマイズすることもできる。システムはHTML5とCSS3に対応したWebブラウザで動作する。

システムの画面を図3に示す。左側のメニューから情報を検索できる。検索結果に対しては自動的に表紙が生成される。表紙はドラッグ&ドロップで空間にレイアウトできる。



図3 システムの画面

キュレーションした空間の例を図4に示す。ユーザは、様々な情報を1つの空間にレイアウトすることで、テーマがもつ魅力や世界観を表現できる。



図4 キュレーションした空間の例

4. 従来の技術との相違

既存のWebキュレーションサービスとしては、Naverまとめ (<http://matome.naver.jp/>) やStorify (<http://storify.com/>) などがある。しかしこれらのサービスでは情報を縦に並べることしかできず、レイアウトや表現の幅が狭い。その原因はWebページという情報に形がないことにある。本プロジェクトでは、Webページに表紙という形を与えることで、キュレーションにおける自由なレイアウトや多種多様な表現を可能とした。

さらに、表紙は画像情報を用いているため、直感的な情報の把握や人を惹きつける効果も期待できる。そのため、既存サービスよりも、あるテーマに関する情報をわかりやすく、魅力的に見せることができると考えられる。

5. 期待される効果

本プロジェクトで開発したシステムによりキュレーションにおける操作性や表現の幅が向上したことから、より多くの人にキュレーションを楽しんでもらえると考えられる。また、本システムによりキュレーションされた空間は、テーマや個々の情報をもつ魅力を直感的に把握できることから、より多くの人に価値ある情報を届けられると期待できる。

さらに、表紙生成エンジンはキュレーション以外に活用することもできる。例えば、検索結果に表紙をつけることで求める情報を探しやすくすることや、ブックマークに表紙をつけることでそれらの内容を素早く的確に想起させることが考えら

れる。加えて、iPadやデジタルサイネージを用いれば、表紙は現実空間に違和感なく溶けこむという特徴も持っている。つまり、表紙によってWebと現実空間を融合させることができる。この特徴を利用し、現実空間にキュレーションされた空間を展示することで、Web上の価値ある情報を、Webを使わない人も含めたより多くの人々に届けることができる（図5）。



図5 キュレーションした空間を現実空間に展示したイメージ

6. 普及の見通し

表紙生成エンジンは、APIを公開する予定である。それにより、様々なサービスに表紙が活用されることを目指している。Webキュレーションシステムは、近くWebサービスとして公開する予定である。本システムは直感的な操作と表現の楽しさを特徴としており、多くの人にキュレーションを楽しんでもらえると考えている。さらに、サービスをキュレーションされたコンテンツが集まるメディアへと育て上げることで、魅力的な情報と出会える場が生まれると期待できる。

7. クリエータ名

重田 桂誓（筑波大学 図書館情報メディア研究科）

関連URL

表紙×Web×キュレーション <http://hyoushi.jp/>